



2024年8月2日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 一樹  
(コード：5074 東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理本部長 平倉 正章  
(TEL：06-6308-2794)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月2日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年8月14日に公表し、2024年5月15日に修正した2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2024年6月期の連結業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	30,000	2,200	3,900	2,400	35.58
今回修正予想（B）	30,000	2,200	7,600	1,100	16.31
増減額（B－A）	0	0	3,700	△1,300	－
増減率（％）	0.0	0.0	94.9	△54.2	－
（参考）前期実績 （2023年6月期）	34,415	6,864	5,518	3,592	102.17

（注）修正後の2024年6月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、前回発表予想における「1株当たり当期純利益」の算出に用いた想定期中平均株式数と同様の値を用いて算出しております。なお、当該想定期中平均株式数の仮定は以下のとおりであります。

- ・2023年7月3日付で発行した当社第3回新株予約権35,216,030個（潜在株式数35,216,030株）の全部につき、行使期間である2023年7月3日から2023年8月30日までの各暦日において596,881個ずつ（ただし、2023年8月30日においては596,932個）行使されるものとする。
- ・2023年6月30日時点で残存する当社第1回新株予約権186個（潜在株式数186,000株）及び当社第2回新株予約権29個（潜在株式数29,000株）の全部につき、2024年6月30日において行使されるものとする。
- ・上記のほか、2024年6月期中において、発行済株式総数は変動しないこととする。
- ・2024年6月期中において、自己株式数は変動しないこととする。

## 2. 修正の理由

経常利益につきましては、当社の連結子会社である株式会社伊万里グリーンパワーが佐賀県伊万里市において開発を進めている発電容量約46.0MWの大型バイオマス発電事業で使用するPKS燃料調達に係る為替変動リスクをヘッジする目的のために締結している為替予約の時価評価により発生するデリバティブ評価損益について、前回発表予想では2024年6月期第3四半期連結累計期間において計上したデリバティブ評価益2,316百万円を予想に含めておりましたが、2024年6月期末時点で時価評価を行った結果、2024年6月期連結累計期間においてデリバティブ評価益5,636百万円を営業外収益に計上することとなったことから前回発表予想を上回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記のデリバティブ評価益の計上があった一方、当社の連結子会社である合同会社熊本錦グリーンパワーにおける発電事業において、発電所の建設コストの増加や、昨今の木材価格の高騰を背景とした国内の未利用間伐材等のバイオマス燃料の調達価格上昇により収益性が低下したため、同社の固定資産について、現在の事業環境を踏まえ将来キャッシュ・フローを見積もったところ、減損の兆候が認められたことから、今後の収益計画を考慮した上で、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、2024年6月期第4四半期連結会計期間において減損損失3,939百万円を特別損失として計上することとなったことに加え、上記デリバティブ評価益の計上に伴う繰延税金負債の計上により2024年6月期連結累計期間において法人税等調整額（損）1,846百万円を計上することとなったことから前回発表予想を下回る見込みとなりました。

売上高及び営業利益につきましては、前回発表予想から変更はございません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記のデリバティブ評価益及び法人税等調整額（損）の計上につきましては、本日公表の「営業外収益（デリバティブ評価益）及び法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ」を、合同会社熊本錦グリーンパワーにおける減損損失の計上につきましては、本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

## 3. 期末配当予想について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、今後も1株当たり配当金を為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除いた1株当たり連結当期純利益で除した金額を連結配当性向と定義した上で、連結配当性向30%を目安に配当を実施し、業績向上に伴って還元拡充を図り、内部留保資金につきましては、事業開発、設備投資及び人材の育成のための財源として活用していく方針としております。

今般、当社は業績予想の内、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正することとなりましたが、連結配当性向の目安に関わらず、上記基本方針の内、安定した配当を継続して実施する観点から、2024年6月期の期末配当予想につきましては、2023年8月14日に公表した1株当たり配当金16.00円から変更いたしません。

以 上